
食品小売業における 販売需要予測システム ニーズ調査

2019年 6月
株式会社マーケティングウェア

◆調査概要

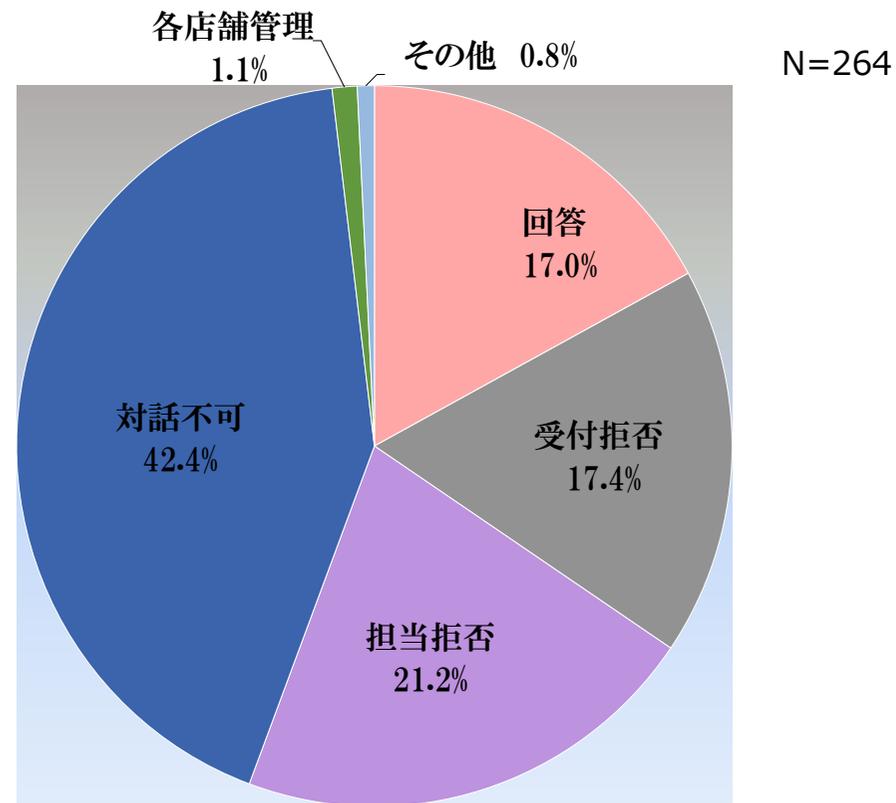
全国の食品小売業よりランダム抽出の上、販売需要予測システムのニーズの把握および現状の問題点を明確化するために実施した。

1. 調査方法 : 電話調査
2. 調査地域 : 全国
3. 調査時期 : 2019年 6月18日(火) ~ 2019年 6月28日(金)
4. 調査対象件数 : 264件
5. 調査機関 : 株式会社マーケティングウェア
〒541-0051大阪府中央区備後町1-4-5 堺筋東野村ビル
TEL06-6267-8700 FAX06-6267-8777

◆調査結果

★結果集計表

	合計	回答合計	回答	一部回答	受付拒否	担当拒否	対話不可	各店舗管理	その他
全体	264	45	45	—	46	56	112	3	2
	100.0%	17.0%	17.0%		17.4%	21.2%	42.4%	1.1%	0.8%

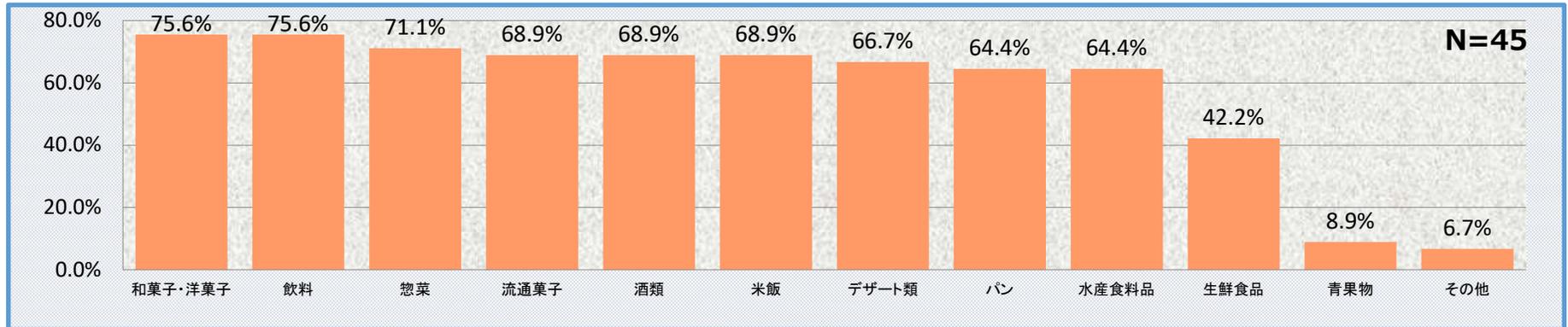


内容集計

1. 対象企業の生産品目

～回答が得られた 45件について～

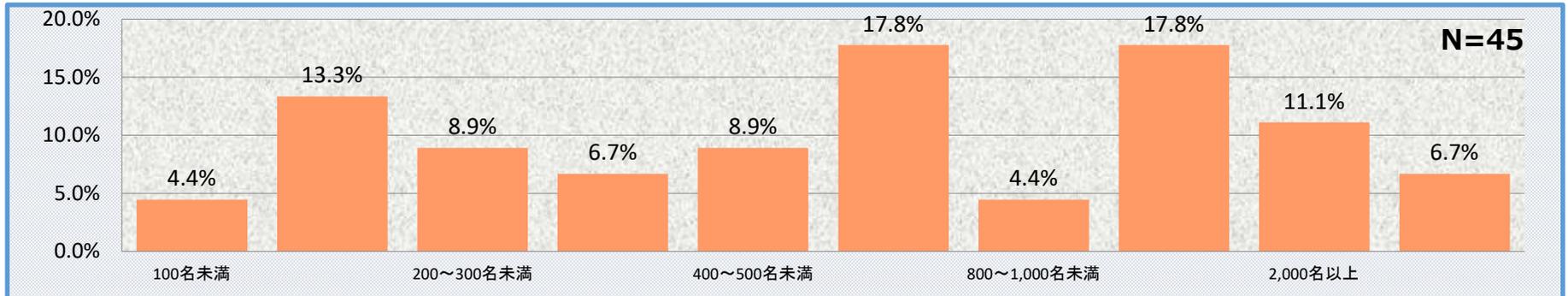
合計	回答計	和菓子・洋菓子	飲料	惣菜	流通菓子	酒類	米飯	デザート類	パン	水産食料品	生鮮食品	青果物	その他
45	307	34	34	32	31	31	31	30	29	29	19	4	3
100.0%		75.6%	75.6%	71.1%	68.9%	68.9%	68.9%	66.7%	64.4%	64.4%	42.2%	8.9%	6.7%



2. パート・アルバイトを含む従業員数

～回答が得られた 45件について～

合計	100名未満	100～200名未満	200～300名未満	300～400名未満	400～500名未満	500～800名未満	800～1,000名未満	1,000～2,000名未満	2,000名以上	不明
45	2	6	4	3	4	8	2	8	5	3
100.0%	4.4%	13.3%	8.9%	6.7%	8.9%	17.8%	4.4%	17.8%	11.1%	6.7%

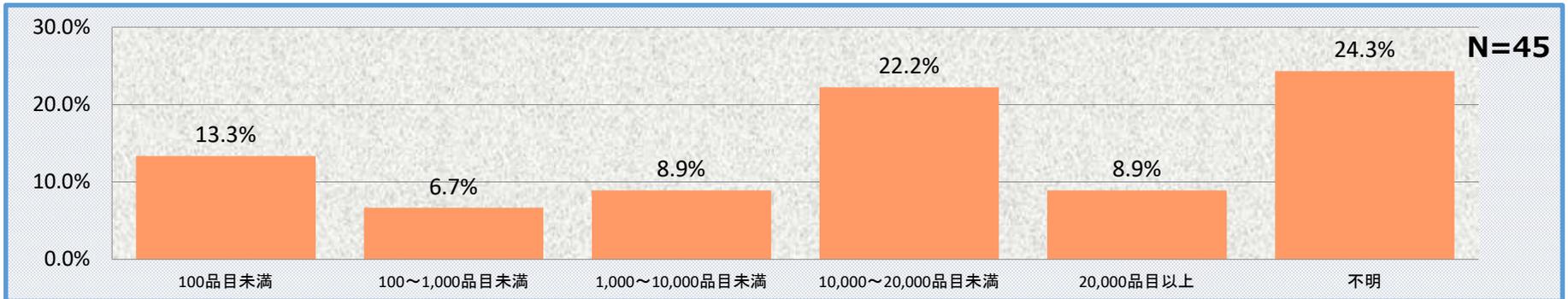


内容集計

3. 取り扱い商品数

～回答が得られた 45件について～

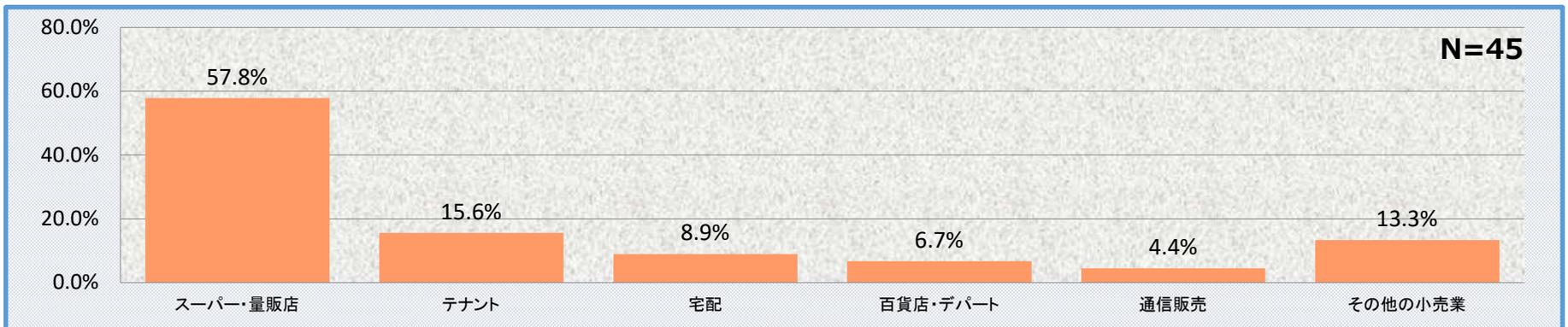
合計	100品目未満	100～1,000品目未満	1,000～10,000品目未満	10,000～20,000品目未満	20,000品目以上	不明
45	6	3	4	10	4	18
100.0%	13.3%	6.7%	8.9%	22.2%	8.9%	24.3%



4. 店舗形態

～回答が得られた 45件について～

合計	回答計	スーパー・量販店	テナント	宅配	百貨店・デパート	通信販売	その他の小売業
45	48	26	7	4	3	2	6
100.0%		57.8%	15.6%	8.9%	6.7%	4.4%	13.3%

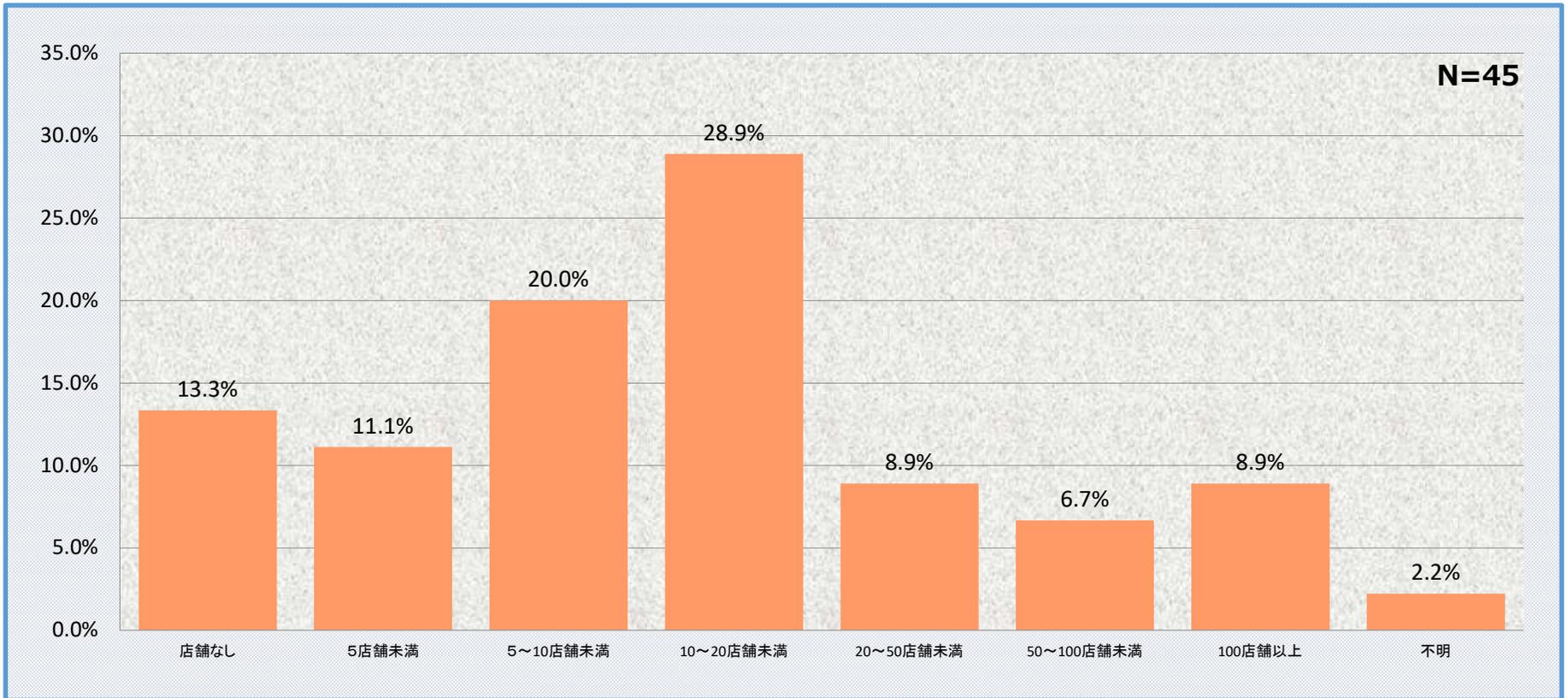


内容集計

5. 店舗数

～回答が得られた 45件について～

合計	店舗なし	5店舗未満	5～10店舗未満	10～20店舗未満	20～50店舗未満	50～100店舗未満	100店舗以上	不明
45	6	5	9	13	4	3	4	1
100.0%	13.3%	11.1%	20.0%	28.9%	8.9%	6.7%	8.9%	2.2%

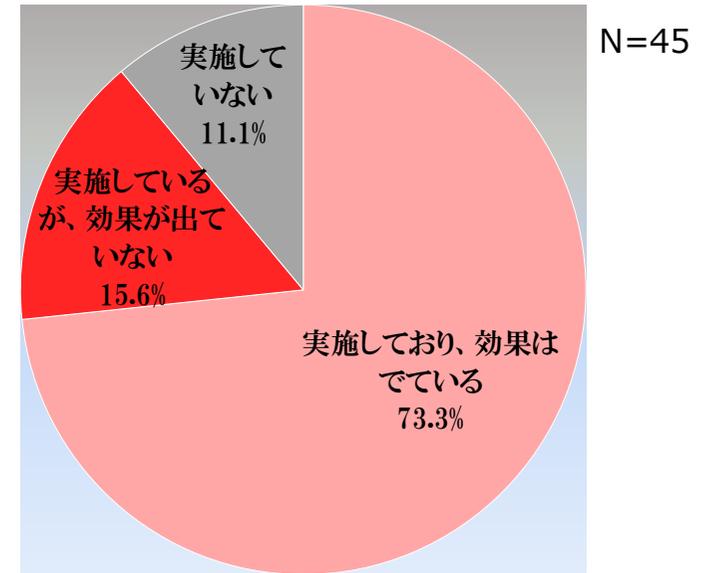


内容集計

6. 食品ロス、廃棄物軽減化取組み実施状況

～回答が得られた 45件について～

合計	実施しており、効果はでている	実施しているが、効果が出ていない	実施していない
45	33	7	5
100.0%	73.3%	15.6%	11.1%

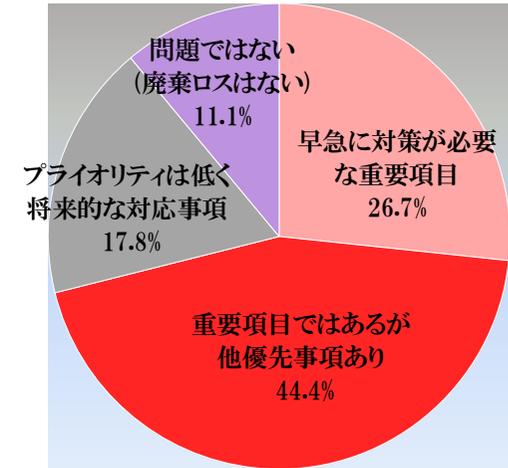


内容集計

7. 食品廃棄ロス対策優先度

～回答が得られた 45件について～

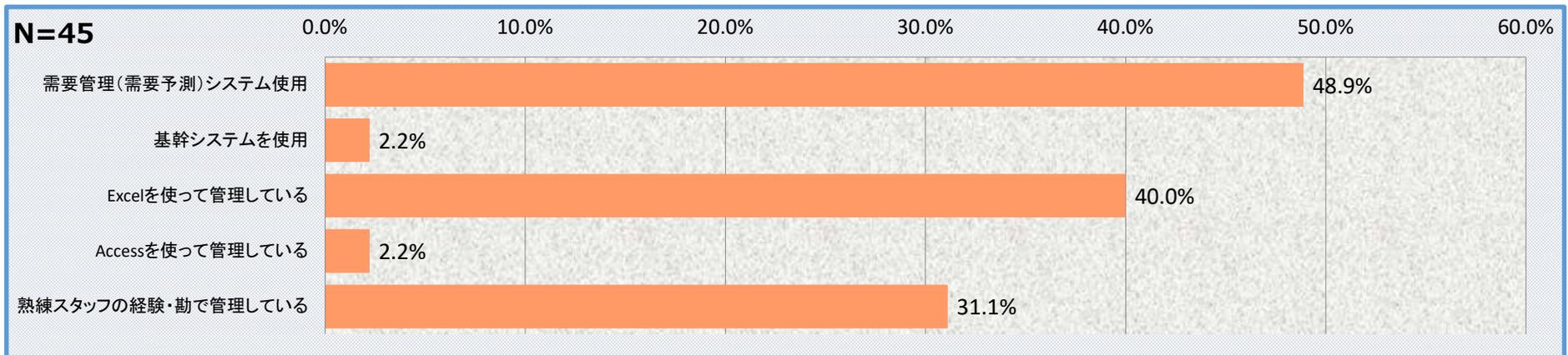
合計	早急に対策が必要な重要項目	重要項目ではあるが他優先事項あり	プライオリティは低く将来的な対応事項	問題ではない(廃棄ロスはない)
45	12	20	8	5
100.0%	26.7%	44.4%	17.8%	11.1%



8. 受注計画・需要予測実施方法

～回答が得られた 45件について～

合計	回答計	需要管理(需要予測)システム使用	基幹システムを使用	Excelを使って管理している	Accessを使って管理している	熟練スタッフの経験・勤で管理している
45	56	22	1	18	1	14
100.0%		48.9%	2.2%	40.0%	2.2%	31.1%

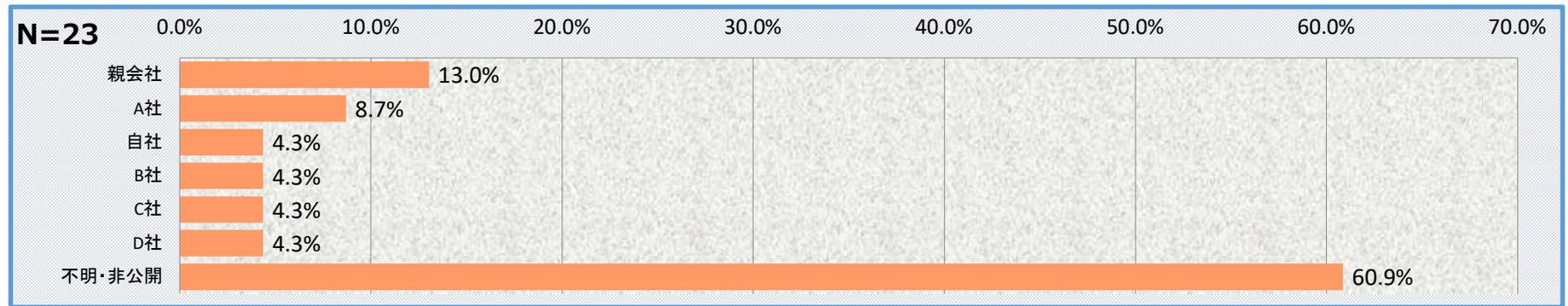


内容集計

9. 受注計画・需要予測システムベンダ名

～需要管理（需要予測）・基幹システムを使用していると回答した 23件について～

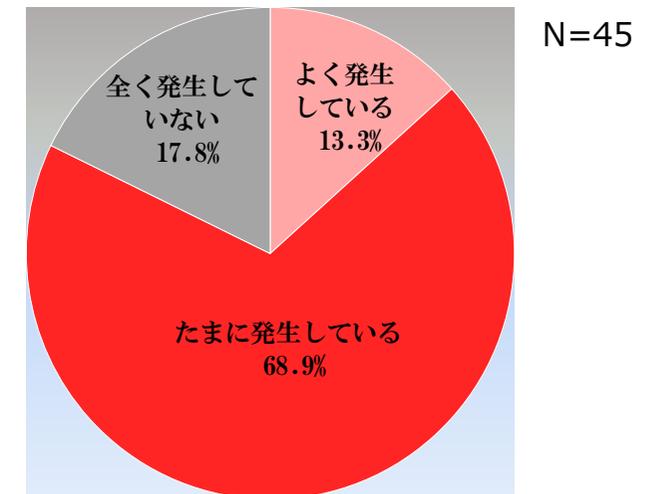
合計	親会社	A社	自社	B社	C社	D社	不明・非公開
23	3	2	1	1	1	1	14
100.0%	13.0%	8.7%	4.3%	4.3%	4.3%	4.3%	60.9%



10. 発注計画・需要予測のズレにより想定以上の食品ロス・廃棄が起こる頻度

～回答が得られた 45件について～

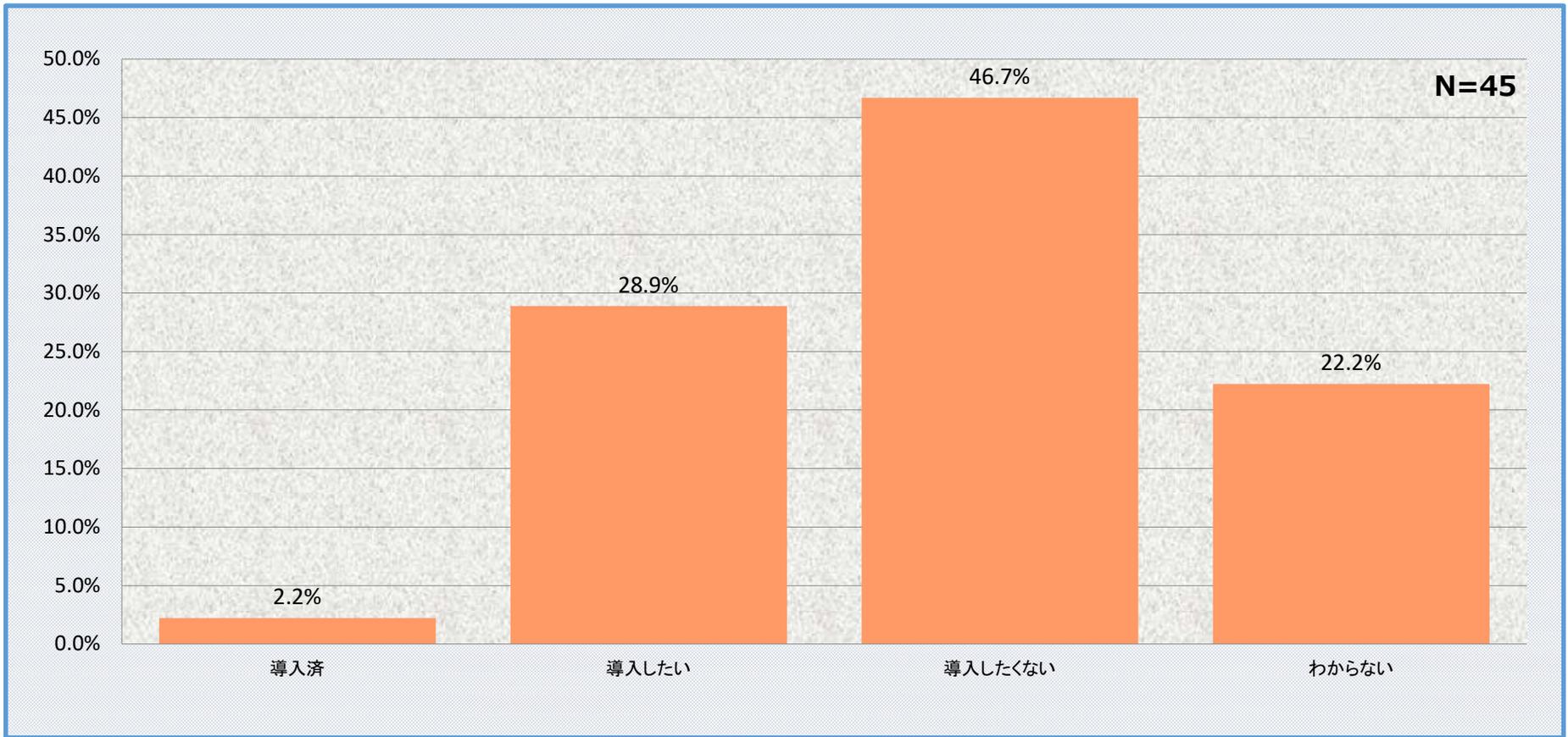
合計	よく発生している	たまに発生している	全く発生していない
45	6	31	8
100.0%	13.3%	68.9%	17.8%



内容集計

1 1. AI分析需要予測基盤利用意向の有無 ～回答が得られた 45件について～

合計	導入済	導入したい	導入したくない	わからない
45	1	13	21	10
100.0%	2.2%	28.9%	46.7%	22.2%

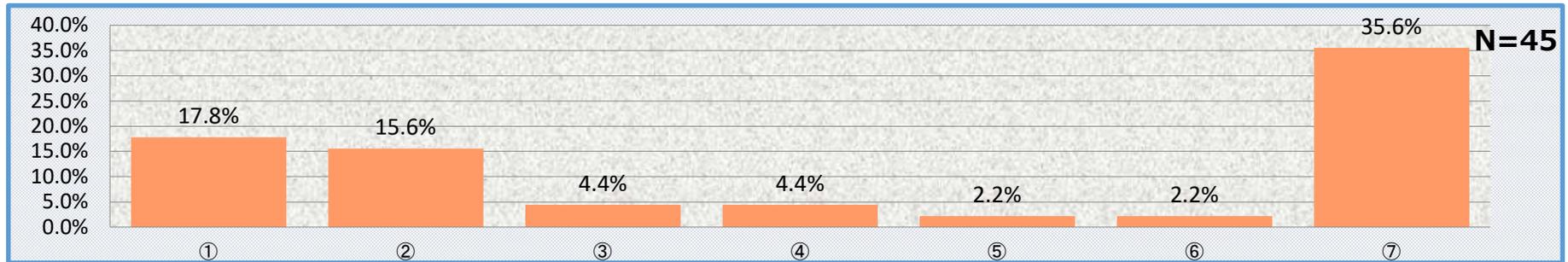


内容集計

1 2. AIを活用した需要予測基盤月額費用

～回答が得られた 45件について～

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
合計	5,000円未満/月額であれば導入したい	10,000円未満/月額であれば導入したい	30,000円未満/月額であれば導入したい	50,000円未満/月額であれば導入したい	100,000円未満/月額であれば導入したい	予測精度が90%以上であれば利用したい	いくらでも導入したくない	非公開/不明
45	8	7	2	2	1	1	16	8
100.0%	17.8%	15.6%	4.4%	4.4%	2.2%	2.2%	35.6%	17.8%



1 3. AIを活用した需要予測基盤の導入方法

～回答が得られた 45件について～

合計	Webでサービスとして利用したい	自社システムとして構築したい	導入したくない	非公開/不明
45	19	11	7	8
100.0%	42.2%	24.4%	15.6%	17.8%



内容集計

14. 客数予測実施頻度

～回答が得られた 45件について～

合計	毎日	週に1度	月に1度	3ヶ月に1度	実施していない
45	36	4	2	2	1
100.0%	80.0%	8.9%	4.4%	4.4%	2.2%

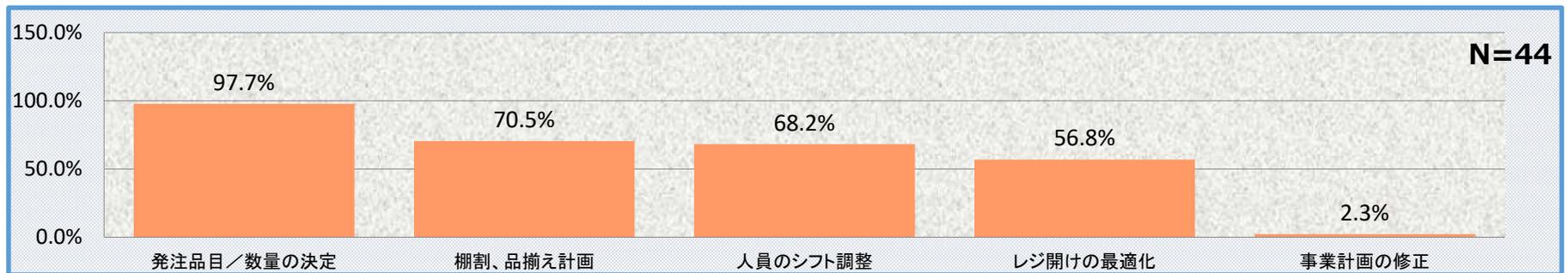


内容集計

1 5. 客数予測の利用用途

～客数予測を実施していると回答した 44件について～

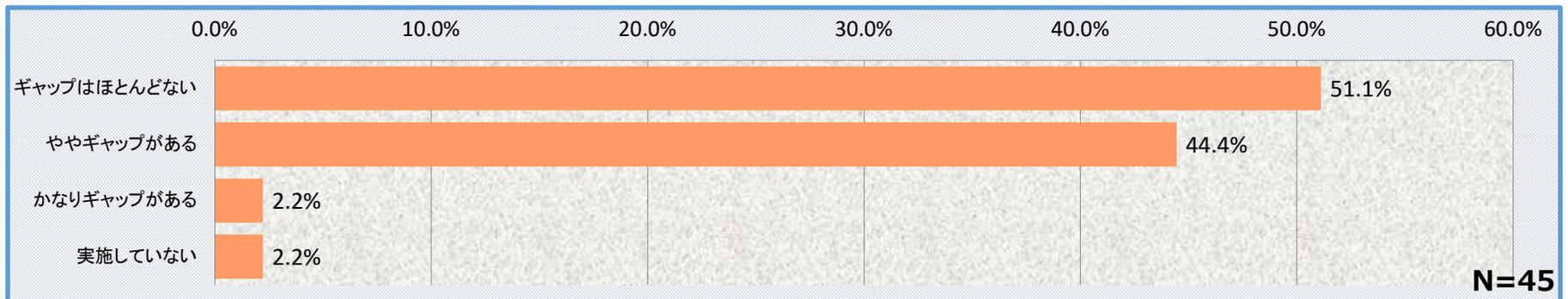
合計	回答計	発注品目／数量の決定	棚割、品揃え計画	人員のシフト調整	レジ開けの最適化	事業計画の修正
44	130	43	31	30	25	1
100.0%		97.7%	70.5%	68.2%	56.8%	2.3%



1 6. 客数予測の実際の客数とのギャップの有無

～回答が得られた 45件について～

合計	ギャップはほとんどない	ややギャップがある	かなりギャップがある	実施していない
45	23	20	1	1
100.0%	51.1%	44.4%	2.2%	2.2%

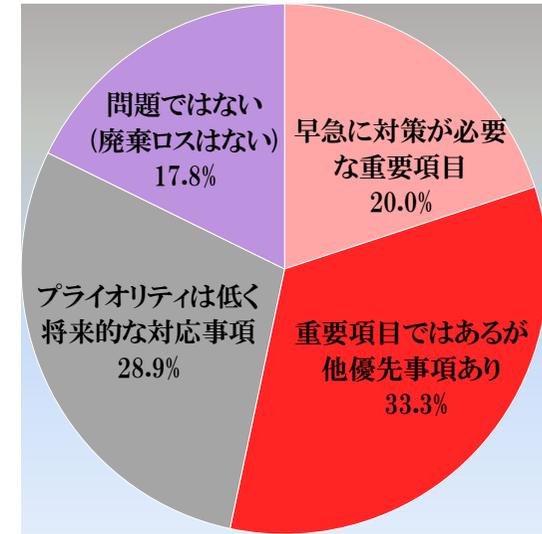


内容集計

17. 客数予測実施優先度

～回答が得られた 45件について～

合計	早急に対策が必要な重要項目	重要項目ではあるが他優先事項あり	プライオリティは低く将来的な対応事項	問題ではない(廃棄ロスはない)
45	9	15	13	8
100.0%	20.0%	33.3%	28.9%	17.8%



内容集計

18. 業務に関する情報収集媒体 ～回答が得られた 45件について～

合計	回答計	取引先の社員との会話	新聞	従業員・同僚との会話	ビジネス系雑誌	テレビ番組・CM	家族や友人・知人との会話	ビジネス系イベント・セミナー	パンフレット・チラシ	ビジネス系以外のイベント・セミナー	企業公式Webサイト	ビジネス系情報サイト・アプリ	その他	不明
45	264	34	31	30	27	26	17	16	15	10	9	9	39	1
100.0%		75.6%	68.9%	66.7%	60.0%	57.8%	37.8%	35.6%	33.3%	22.2%	20.0%	20.0%	86.7%	2.2%

